



# みつくうら



## 《 北米産大豆 》

### 18/19年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほどまとめた、18/19年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は中国とインドで増加した一方で、米国とアルゼンチンが減少したことで前月比2.0%減の3億6,750万トンとなりました。

生産量は前月から減少したものの、期初在庫が上方修正されたことや、搾油需要の減少などにより、期末在庫量は前月比2.0%増の1億1,208万トンと上方修正となり、3か月連続で1億トンの大台を突破しています。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、単収が減少したことで生産量は前月比2.4%減の1億2,518万トンとなりました。

国内での消費量は増加しているものの、輸出量が大幅に減少したことで在庫率が前回は2.5%増の23.3%に上方修正されています。

### 18/19年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億6,750万t	(対前年比 8.5%増)
消費量	3億5,194万t	(対前年比 4.5%増)
期末在庫量	1億1,208万t	(対前年比 12.4%増)
期末在庫率	31.8%	(対前年度差 2.2ポイント増)

### 18/19年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億2,518万t	(対前年比 4.3%増)
消費量	6,008万t	(対前年比 1.9%増)
輸出量	5,171万t	(対前年比 10.8%減)
期末在庫量	2,600万t	(対前年比 118.1%増)
期末在庫率	23.3%	(対前年度差 13.1ポイント増)



### ○11月11日現在の米国大豆収穫率、前年・平年比で下回る—米農務省

米農務省が13日発表した、11月11日現在の米国大豆収穫率は、主要18州平均で88%（前週83%、前年93%、平年93%）と前年・平年比でともに5ポイント下回るペースとなっています。

### ○18年産カナダ大豆生産、3%減の752万tを予測

カナダ農務・農産食品省によると18年産カナダ大豆の生産量は3%減の752万tを予想しています。単収は増加見通しにあるものの、作付・収穫面積が前年を下回るため、生産量が減少すると予測しています。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



## ○ブラジル大豆主要産地で降雨続く、アルゼンチン中部でも恵みの雨

米農務省の週間天気と作物調査によれば、10月28日～11月3日の週、南米ブラジルでは広い範囲において局所的な激しい降雨により、大豆などの夏季作物の生育にとって好ましい状態が続いています。主要産地の大豆作付率は順調に進んでおり、一部の週では過去5年平均よりも25ポイント早いペースとなっています。

アルゼンチンでは、中部の穀倉地帯において恵みの雨が続き、発芽期を迎えている夏季作物の生育を改善しました。アルゼンチン政府によれば、11月1日時点の大豆の作付率は45%と、前年の35%と比較し、早い進捗となっています。

## 《 トピックス 》

### ONON-GMO表示、「不検出」に限る厳格化方針変わらず

消費者委員会の食品表示部会はこのほどGMO（遺伝子組み換え）表示の改正案について審議し、いわゆるNON-GMO表示に関して、現行のGMOの意図せざる混入を5%まで許容する制度から、「混入がないと認められる」場合に限る厳格化方針は変わらないことを確認しました。

改正案によれば、分別生産流通管理を実施し、GM農産物の混入を5%以下に抑えているものについては、分別生産流通管理をしていることを表示することを求めており、現行通りNON-GMO表示（遺伝子組み換えでない）を行うには、GM農産物が不検出の場合に限り認めるとしています。

また、分別生産流通管理をしていない原料を使用している場合は、「遺伝子組み換え不分別」ではなく、分別していない旨を原材料名の次にカッコ書きで説明する必要があるとしました。なおIPハンドリングという表現は、消費者にとって分かりにくいことから、分別生産流通管理という表現に統一することを求めています。

このほか、事業者による第三者分析機関による検査は有効ですが、それを任意表示の必須条件とはしておらず、GM農産物の混入がないことの確認方法は、行政の行う科学的検証において判断するとしています。事業者による分析依頼先は自主性に任せ、特定の分析機関を指定しないとしています。ただし、行政が行う科学的検証で、使用する原料農産物に遺伝子組み換え農産物が含まれることが確認された場合は、「非遺伝子組み換え」という表示は不適正と判断されます。

なお表示の移行期間は、事業者の実行可能性や消費者への周知活動を十分に実施する観点から、23年3月31日までとし、23年4月1日以降に製造・加工・輸入されるものは、改正後の表示制度に基づく必要があるとしています。

最後に改正案に対する意見募集を11月8日まで実施しており、それが終了し、集計・整理される12月の会合から改めて審議に入るとしています。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>